

# 北薩感染症情報

2025年第50週(12月8日～12月14日)

【問い合わせ先】〒895-0041 薩摩川内市隈之城町228番地1

北薩地域振興局保健福祉環境部(川薩保健所)健康企画課

電話 0996-23-3165 FAX 0996-20-2127

Eメール [kita-kenkou-shippei@pref.kagoshima.lg.jp](mailto:kita-kenkou-shippei@pref.kagoshima.lg.jp)

## 川薩・出水保健所における定点報告疾患

◎: 警報発令中

○: 注意報発令中

定点種別	対象疾患	警報レベル		注意報 レベル	川薩保健所管内					出水保健所管内				
		開始 基準値	終息 基準値		前週 報告数 (人)	今週 報告数 (人)	定点 報告数	前週 からの 増減	警 報 注意報	前週 報告数 (人)	今週 報告数 (人)	定点 報告数	前週 からの 増減	警 報 注意報
		基準値	定点報告数											
急性呼吸器感染症(ARI) 定点	急性呼吸器感染症	-	-	-	367	468	155.33	↗	-	170	168	84.00	↓	-
	インフルエンザ	30.0	10.0	10.0	360	520	173.33	↗	◎	71	106	53.00	↗	◎
	COVID-19 (新型コロナウイルス感染症)	-	-	-	3	3	1.00	→	-	-	-	-	→	-
小児科定点	RS	-	-	-	3	3	1.50	→	-	-	3	3.00	↗	-
	咽頭結膜熱	3.0	1.0	-	2	1	0.50	↓	-	-	-	-	→	-
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	-	6	1	0.50	↓	-	5	10	10.00	↗	-
	感染性胃腸炎	20.0	12.0	-	6	9	4.50	↗	-	1	-	-	↓	-
	水痘	2.0	1.0	1.0	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	手足口病	5.0	2.0	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	伝染性紅斑	2.0	1.0	-	16	11	5.50	↓	◎	5	3	3.00	↓	◎
	突発性発疹	-	-	-	1	-	-	↓	-	-	-	-	→	-
	ヘルパンギーナ	6.0	2.0	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0	-	2	1.00	↗	-	-	-	-	→	-
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.0	0.1	-	-	-	-	→	-	/	/	/	/	/
	流行性角結膜炎	8.0	4.0	-	2	3	3.00	↗	-	/	/	/	/	/
基幹定点	細菌性結膜炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	無菌性結膜炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
指定医療機関からの インフルエンザ入院報告		-	-	-	-	-	/	→	-	-	5	/	↗	-
指定医療機関からの COVID-19入院報告		-	-	-	-	-	/	→	-	-	-	/	→	-
報告数合計		-	-	-	766	1019	/	↗	/	252	295	/	↗	/

<注意報・警報レベル>

- ・川薩保健所管内 伝染性紅斑、インフルエンザ(警報レベル)
- ・出水保健所管内 伝染性紅斑、インフルエンザ(警報レベル)

<全数報告>

- ・川薩保健所管内 結核1例、百日咳1例
- ・出水保健所管内 追加 ウイルス性肝炎1例(第49週)

<インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等>

- ・川薩保健所管内 学年閉鎖:薩摩川内市1件、さつま町1件 学級閉鎖:薩摩川内市4件
- ・出水保健所管内 なし

疾病別各保健所定点当たり報告 直近10w分(男女合計)

  警報発令中   注意報発令中

定点種別	疾病	警報/終息 基準値	注意報 基準値	川薩保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)									
				41W	42W	43W	44W	45W	46W	47W	48W	49W	50W
急性呼吸器 感染症(ARI) 定点	急性呼吸器感染症	—	—	73.33	58.33	76.67	77.67	96.33	74.33	84.67	85.33	122.33	155.33
	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	5.67	3.33	8.33	3.00	7.00	26.67	23.67	41.00	120.00	173.33
	COVID-19 (新型コロナウイルス感染症)	—	—	6.00	3.33	3.33	3.00	4.00	4.00	2.67	2.33	1.00	1.00
小児科定点	RSウイルス感染症	—	—	0.50	1.00	—	—	—	—	4.50	4.00	1.50	1.50
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	—	0.50	1.00	1.50	0.50	0.50	0.50	2.00	0.50	1.00	0.50
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	—	—	0.50	0.50	1.00	1.00	3.00	1.50	0.50	3.00	0.50
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	—	3.00	2.00	2.50	—	1.50	4.00	3.50	4.50	3.00	4.50
	水痘	2.00/1.00	1.00	—	0.50	—	—	—	—	0.50	—	—	—
	手足口病	5.00/2.00	—	—	0.50	—	0.50	—	—	0.50	—	—	—
	伝染性紅斑	2.00/1.00	—	4.50	3.50	1.00	1.00	4.50	5.00	5.50	4.50	8.00	5.50
	突発性発疹	—	—	—	0.50	1.00	—	—	1.00	1.00	—	0.50	—
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
眼科定点	流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.00
	急性出血性結膜炎	1.00/0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
基幹定点	流行性角結膜炎	8.00/4.00	—	2.00	—	1.00	1.00	—	2.00	2.00	1.00	2.00	3.00
	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

定点種別	疾病	警報/終息 基準値	注意報 基準値	出水保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)									
				41W	42W	43W	44W	45W	46W	47W	48W	49W	50W
急性呼吸器 感染症(ARI) 定点	急性呼吸器感染症	—	—	51.50	47.50	53.50	56.50	64.50	57.50	63.50	60.00	85.00	84.00
	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	—	—	3.50	0.50	4.50	2.00	5.50	18.50	35.50	53.00
	COVID-19 (新型コロナウイルス感染症)	—	—	7.50	0.50	2.50	2.00	2.00	1.00	0.50	1.50	—	—
小児科定点	RSウイルス感染症	—	—	2.00	4.00	3.00	4.00	1.00	4.00	2.00	1.00	—	3.00
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	—	1.00	4.00	2.00	11.00	10.00	—	1.00	5.00	4.00	5.00
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	—	—	—	1.00	3.00	—	—	—	3.00	1.00	—
	水痘	2.00/1.00	1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	手足口病	5.00/2.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	伝染性紅斑	2.00/1.00	—	2.00	1.00	3.00	1.00	1.00	—	—	1.00	5.00	3.00
	突発性発疹	—	—	—	—	1.00	—	1.00	—	—	2.00	—	—
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
基幹定点	流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
基幹定点	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

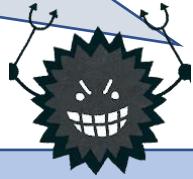
第50週は、川薩保健所管内及び出水保健所管内で伝染性紅斑、インフルエンザが警報レベルです。

県内全域にインフルエンザ流行発生警報が発令されています。手洗い・うがい、マスクなど基本的な感染対策を心がけましょう。



インフルエンザの報告数が急増しています！  
(県内全域に流行発生警報発令中)

## インフルエンザとは



インフルエンザは、インフルエンザウイルスに感染することによって起こる病気です。38°C以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等の症状が比較的急速に現れるのが特徴です。併せて風邪と同じように、のどの痛み、鼻水、咳等の症状も見られます。子どもではまれに急性脳症を、高齢者の方や免疫力の低下している方では細菌による肺炎を伴う等、重症になることがあります。

## 予防について

①流行前のワクチン接種

②外出後の手洗い等

→流水・石鹼による物理的除去

アルコール製剤による手指衛生

③適度な湿度の保持

→空気が乾燥すると、気道粘膜の防御機能が低下し、

インフルエンザにかかりやすくなります。適切な湿度

(50%～60%)を保つことも効果的です。

④十分な休養とバランスのとれた栄養摂取

⑤人混みや繁華街への外出を控える

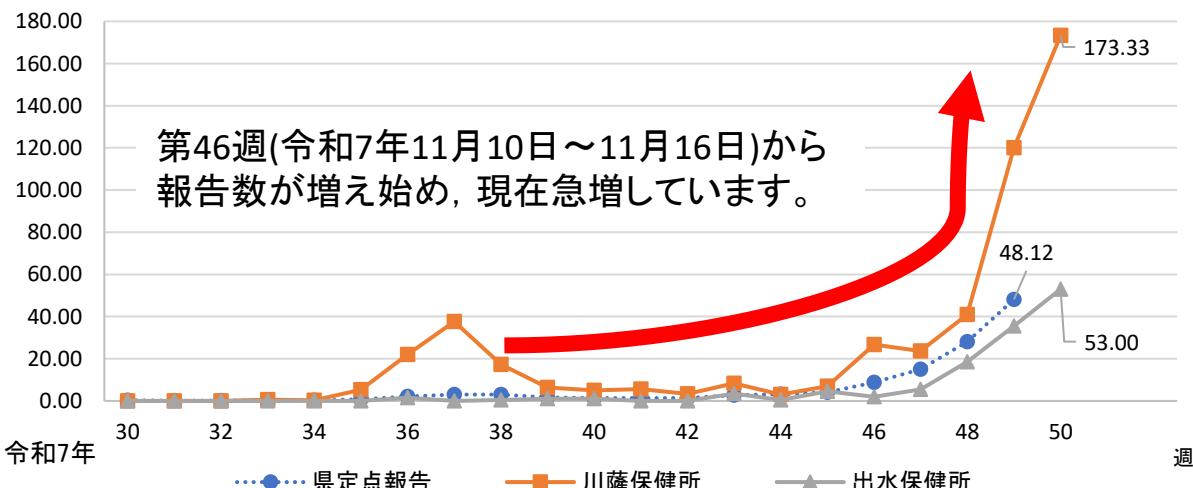
⑥室内ではこまめに換気をする

→対角線上にあるドアや窓を2か所開放すると効果的です。



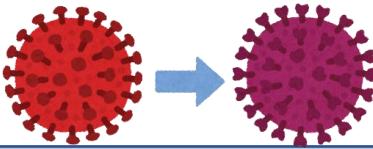
定点あたり報告数(人/定点)

参考: 感染症発生動向調査システム(30週～50週)



## インフルエンザウイルス サブクレードKについて

### サブクレードとは



インフルエンザウイルスは、「型(A・B型)→亜型(H1N1・H3N2など)→クレード(系統群)」と分類されるが、さらにその下に「サブクレード(subclade)」という遺伝子変異により異なるグループを示す細分類があります。

この「サブクレード(subclade)」には、J.2, J.2.4, K(J.2.4.1)等があり、季節性インフルエンザウイルスの変異の積み重ねによるものです。

### サブクレードKの発生状況について

2025年夏以降、国内外において、インフルエンザウイルスA/H3N2 (subclade K) が確認されています。このウイルスは、これまでのウイルスと比較し、感染が拡大するスピードが早いものの、症状や重症度は従来の季節性インフルエンザと大きく変わらないものと想定されています。



### ワクチン・治療薬の有効性

- ・本年の不活化インフルエンザHAワクチンに、インフルエンザウイルスA/H3N2株は含まれています。
- ・実際に、流行しているインフルエンザウイルス流行株とワクチン株に、抗原性(免疫の反応性の程度)に違いがあったとしても、一定程度の有効性が保たれるとする報告もあります。
- ・通常の抗インフルエンザウイルス薬が有効であると想定されています。

### 予防・感染対策

基本的な感染対策は同様であり、こまめな手洗いやマスクの着用を含む咳エチケットが重要です。また、ワクチン接種による予防も有効です。



# みんなで予防 インフルエンザ

マメな手洗いと咳エチケットで  
「かからない」、「うつさない」。

- 室内では、適度な湿度を保ちましょう。また、こまめに換気をしましょう。
- 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取を日ごろから心がけましょう。



マメゾウくん

厚生労働省  
Ministry of Health, Labour and Welfare  
鹿児島県



アルコール製剤による  
手指衛生

インフルエンザウイルスに効果があります。



てあら  
手洗い

指先、指の間、親指、手首は  
特に注意して手洗いをしましょう。

インフルエンザに関する情報

今冬 インフルエンザ



バーコード読み取り機能付き携帯電話もしくは  
スマートフォンでご利用になれます。

「インフルエンザ予防啓発 コラボポスター」を加工して作成  
(<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekakkaku-kansenshou01/keihatu/keihatu-collabo-apply.html>)

